

チャペル週報

No.9

2023.6.12～6.16

主があなたを祝福し、あなたを守られるように。

民数記 6章 24節



ランバス記念礼拝堂（西宮上ヶ原キャンパス）

関西学院宗教センター

革新は新たな伝統になるか

福本 浩兵

最近驚いた出来事がありますか？私は大学職員という立場から「募集停止」「統合」を発表する国内の大学・短期大学に関するニュースに驚かされました。関西学院大学にとっても、他人事ではありません。受験生から選ばれ、社会から求められる存在になるためには、一体どうすれば良いのでしょうか。卒業生の立場からも考えています。その方法に「革新を新たな伝統にする」ことがあると思います。

ところで、みなさんは関西学院の校名の由来をご存知でしょうか。「西日本の指導者ともなる思いが込められている」との記載が関西学院事典にあります。関西学院が創立された1889年当時、学院という名称は非常に珍しく、そのころのミッション・スクールは〇〇英和学校、〇〇英和女学校などと呼ぶものが多く、こうした伝統を破っての命名だったそうです。「当時の学生気質が進取革新的で、東京をトウケイというように漢音読みする傾向があったので、本学の校名『クワンセイ』もそれにちなんだ。そこには現在の学風につながる自由な発想があった」と大学HPでは結ばれています。つまり、関西学院には「伝統」と「革新」のアイデンティティが創立当時から流れているのです。

伝統は歴史や文化の尊重を意味し、過去からの教訓や価値を次世代に伝える役割を果たします。一方で、革新は新しいアイデアやアプローチを取り入れ、進歩や成長を促進します。時代の流れと社会の変化に対応するための重要な要素です。周囲との対話や共同作業を通じて、革新と伝統のバランスを見つける。その過程で、新たな価値や可能性が発見され、持続的な成長と発展が実現されるのではないのでしょうか。進化と継続の両方を大切にすることです。革新を新たな伝統に。これらを実現する方法は何があるか？今後も考えたいと思います。

最後に私の好きな聖句を紹介します。何かを選ぶとき、たとえ魅力的に見えなかったとしても、自らを生かす道を選び取る大切さを教えてください。

狭い門から入りなさい。滅びに通じる門は広く、その道も広々として、そこから入る者が多い。しかし、命に通じる門はなんと狭く、その道も細いことか。それを見いだす者は少ない。

(新約聖書 マタイによる福音書 7章 13-14節)

(広報室職員)

チャペルアワー スケジュール

西宮上ヶ原キャンパス、西宮聖和キャンパス・・・10:30-11:00

神戸三田キャンパス・・・10:40-11:10

6/12 月

神 説教学演習 A 日下部 光喜(神学研究科 M1 年)
経 李 相勲(宣教師、経済学部准教授)
人 音楽チャペル 関西学院聖歌隊
建 献血実行委員会
聖和 坂口クラス ダッドレーチャペル

13 火

神 応援団総部吹奏楽部の演奏による音楽礼拝
文 Andreas Rusterholz(宗教主事)
社 心新たにーコロナ後の出発③ 大岡 栄美(社会学部准教授)
法 大宮 有博(宗教主事)
経 経済と人間④ 宮脇 幸治(経済学部准教授)
商 高森 桃太郎(商学部准教授)
国 平林 孝裕(宗教主事)
理・工・生環 献血実行委員会
総 宗教総部
教 田代 麻里江(クライストコミュニティ武庫之荘チャペル チャプレン)

14 水

神 「私にとっての1枚」⑨ 水野 隆一(神学部教授)
社 心新たにーコロナ後の出発④ Hans Peter Liederbach(社会学部教授)
法 大宮有博(宗教主事)
商 Chapel in English Timothy O. Benedict(宣教師、社会学部准教授)
人 林 直也(人間福祉学部教授)
国 長谷 尚弥(国際学部教授)
理・工・生環 竹内 富久恵(神戸愛生伝道所/北須磨教会 牧師)
教 献血実行委員会

15 木

神 献血実行委員会
文 Andreas Rusterholz(宗教主事)
社 心新たにーコロナ後の出発⑤ 上田 直宏(日本キリスト教団 主恩教会牧師)
法 井上 智(宗教センター宗教主事)
経 世界難民の日(6/20)を前に 舟木 讓(宗教主事)
商 木原 桂二(宗教主事)
人 李 相勲(宣教師、経済学部准教授)
国 Chapel in English Christian Triebel(宣教師、学長直属助教)
総 関西学院室内合奏団
聖和 ペンテコステ礼拝 水野 隆一(神学部教授)

16 金

ランバスチャペルアワー
「建学の精神」 岩野 祐介(神学部長)
於：ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原) ※大学院チャペルはこちらへ合流します
神 芦名 定道(神学部教授)
文 Chapel in English Andreas Rusterholz(宗教主事)
経 経済と人間⑤ 白井 洸志(経済学部准教授)
理・工・生環 献血実行委員会

◇ランバス早天祈祷会 毎週金曜日 8:10～8:30 ランバス記念礼拝堂（西宮上ヶ原）

6月16日（金） 教育学部のために 山本 健治（教育学部長）

毎週金曜日、各テーマに沿ったお話を聞き、参加者で祈りを捧げています。学生・教職員の方々に開かれた祈祷会です。ランバス礼拝堂とZoom併用で実施しておりますので、ぜひご参加ください。

Zoomでご参加希望の教職員・学生の方は、宗教センター（shukyocenter@kwansei.ac.jp）へ

①メールアドレス ②お名前 ③所属 ④関学との関係（学生等）をメールでお知らせください。

●院長室から発信！ ビデオメッセージ「風に思う」 配信のご案内

院長室からのビデオメッセージ「風に思う」の配信をしています。毎回、聖書の言葉を取り上げ、それが今を生きる私たちに何を語るか、短くお話しします。キャンパスの美しい風景と合わせて、関西学院の中心となる精神に触れてください。



（月2回程度更新されます）

<https://ef.kwansei.ac.jp/about/kazeniomou> 「風に思う」 関西学院 院長室からのメッセージ(HP)

●ランバスチャペル・ヌーンコンサート

西宮上ヶ原キャンパスの正門に入って右手に見えるチャペル「ランバス記念礼拝堂」では、礼拝はもちろん、コンサートや式典、講演会、卒業生の結婚式などが行われています。4月から関学を代表する音楽団体による恒例のヌーンコンサートが開かれます。お昼休みのひととき、どうぞ耳を傾けてみてください。

6月15日（木） 関西学院大学混声合唱団エゴラド

6月30日（金） 関西学院ハンドベルクワイア

7月 6日（木） 関西学院聖歌隊

7月 7日（金） 関西学院バロックアンサンブル

7月14日（金） 関西学院交響楽団

時 間：いずれも12時45分～13時15分

場 所：ランバス記念礼拝堂（西宮上ヶ原キャンパス）

主 催：宗教センター・宗教音楽委員会

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急大阪梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパス（1405教室）では、大学院授業期間中の月1回、原則第2木曜日にチャペルアワーを開催します。

【どなたでもご自由にご参加ください。】

7月13日（木） 17:50～18:10 打樋 啓史（宗教総主事）

●関西学院会館ベーツチャペル日曜礼拝

授業期間中の第2・第4日曜日（原則）の午前10時から関西学院会館ベーツチャペルでは日曜礼拝を行っております。

どなたでも（クリスチャンでなくとも）ご参加できますのでどうぞお越しください。

6月25日（日） 10:00～11:00

●CD・DVDライブラリー利用について

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員（学生証または身分証明書必要）であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

●使用済み切手収集にご協力ください

本学では「日本キリスト教海外医療協力会（JOCs）切手部」の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますので、どうぞ吉岡記念館事務室へお届けください。

郵送でのご送付先：〒662-8501 西宮市上ヶ原一番町1-155

関西学院吉岡記念館事務室宗教センター宛

●盲導犬育成のためご協力お願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室はじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。

●「チャペル週報」のバックナンバー(2005年以降)は下記で閲覧できます。

URL : <https://www.kwansei.ac.jp/about/chapel/weekly/>

関西学院宗教センター

<https://www.kwansei.ac.jp/about/chapel/>

